

# 石神中学校だより



第 7 号

発行日：平成29年 9 月29日（金）

## 【教育目標】

- ・ 自ら学習する生徒
- ・ 正しく判断できる生徒
- ・ 健やかな生徒

発行者 校長 高橋知宏

## スーパーティーチャー招へい事業 岩崎恭子先生の特別授業「幸せは自分でつかむ」



9月28日（木）、南相馬市教育委員会の平成29年度スーパーティーチャー招へい事業の一環として、1992年のバルセロナオリンピック金メダリストの岩崎恭子先生による特別授業を実施しました。

この事業は、生徒達に、世界的に活躍する著名人による授業をとおして、学ぶことの楽しさや努力することの意義について考えを深めさせ、「自分の将来像をしっかりと持ち夢や目標に向かって前進しようとする力」を育むことをねらいとして行うものです。

岩崎先生には、当時のオリンピック記録を塗り替えるタイムで、競泳史上最年少の14歳で金メダルを獲得した後の様々な場面で、「何を考え、どのように人生を歩んできたか」について、「幸せは いつも自分でつかむ」というテーマで授業をしていただきました。先生の授業から、生徒達は、苦しいこと・辛いことに対して、「ちょっとやってみよう、ちょっと気持ちを明るく持ってみよう」という前向きな気持ちを持つことや自分が「こうしたい、これでいい」と思える目標を持つことを大切にし、「幸せは人それぞれの価値観で違うからこそ、自分で幸せと思えることをたくさん作りたい。そして、他の人が嬉しい、幸せと思えることを応援したい。」という先生の生き方に触れることができました。また、「たくさんの幸せがみんなを待っている。だから、自分自身で様々なことを経験してほしい。」とメッセージをいただきました。授業の中では、参加した全員が金メダルに触れさせていただきました。本物の金メダルのずっしりとした重さに驚くとともにその輝きにとっても感動しました。質問コーナーでは、座右の銘について、『素直』何かあった時に、人や物のせいにするのではなく、素直に考えることが大切だということ」を教えていただきました。

雨の中、遠方よりお越しいただいた岩崎先生の授業を受け、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



## 1年生工場見学学習、2年生職場体験 3年生福祉体験 ～体験を成長の糧に！～

9月21日（木）、1年生は、自分の住む地域の文化や産業を調べ、まとめ、地域の現状について主体的に関わり、自分の生き方について考えようとする態度を育成することを目的に、相馬港・シマ商会・南相馬アグリパークを見学しました。翌日には、復興の状況や地域の産業について学んだことを新聞にまとめました。2年生は、



翌22日（金）を含む2日間、実際の仕事を体験することにより、働くことの大切さや社会との関わりを学ぶとともに自分の進路や将来の生き方について考えることを目的に、市内33事業所において職場体験学習を実施しました。その貴重な経験を通し、将来の進路を考え、働くことの大変さを知る機会となりました。3年生も2日間にわたり、働くことの意義や役割、職業人としてのマナーや規律の大切さについて理解を深めることを目的に、市内23事業所において福祉体験学習を実施しました。体験を通し、福祉の大切さや、様々な人の思いやりや協力によって福祉が実現することが理解できました。現在、この体験をまとめており、文化祭で新聞展示や発表を行うことになっています。是非おいでいただいでご覧ください。



毎年、事業所の皆様方には、快く生徒達を受け入れていただき、そして、当日も親切に対応いただいておりますことを感謝申し上げます。この貴重な経験が必ずや将来の生徒達の職業選択、職業理解、社会参加への意欲付けとなるものと期待しています。